

2018年10月2日
サインポスト株式会社

AI 無人決済システム「スーパーワンダーレジ」実証実験のお知らせ ～JR 赤羽駅ホーム上に無人決済店舗をオープン～

サインポスト株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長 蒲原寧、以下、サインポスト)、東日本旅客鉄道株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 深澤祐二、以下、JR 東日本)、JR 東日本スタートアップ株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 柴田裕)は、赤羽駅で AI 無人決済システム「スーパーワンダーレジ」を導入した店舗の実証実験を行うことといたしました。

スーパーワンダーレジはサインポストが独自開発する人工知能「SPAI」による画像認識技術、物体追跡技術を活用した無人決済システムで、AI が入店したお客さまを追跡して手に取った商品を認識、購入金額の計算から決済まで一貫して自動で行います。

サインポストと JR 東日本は 2017 年 11 月にも JR 東日本が推進する「JR 東日本スタートアッププログラム」の一環として、大宮駅の特設店舗でスーパーワンダーレジの実証実験を 1 週間にわたり実施。今般の実証実験にあたっては、更に開発と改良を重ねて赤羽駅に特設店舗を開設します。お客さまはご利用に関して事前登録の必要はなく、多くの方に新しいお買い物方法を体験いただけます。

■ 実証実験の目的

今回の実証実験では、一般の方にスーパーワンダーレジを利用してもらうことで、無人店舗の実用化に向けた課題解決の方策を検証します。サインポストは本システムで、お買い物をするお客さまにおいては誰でもレジに並ぶことなくスムーズにお買い物を楽しんでいただき、また小売店舗においては店舗運営の更なる効率化と将来的な無人化を目指しています。

■ 実証実験内容

会場は赤羽駅ホーム上の KIOSK 跡を活用した特設店舗で、一般のお客さまを対象に無人決済店舗の実証実験を行います。スーパーワンダーレジを導入することで、食品や飲料などお客さまが選んだ商品を AI が把握し、自動的に購入金額を算出。レジで会計待ちをすることなく、交通系電子マネー(※)で短時間に決済を行うことができます。

※ 特設店舗ではチャージできません。お買い上げの金額をあらかじめチャージしてからご利用ください。

■ 実験店舗の概要

- (1) 期 間:2018年10月17日から2カ月程度
- (2) 営業時間:10:00~20:00 ※平日のみ、土日祝日はお休みです。
- (3) 場 所:赤羽駅5、6番線ホーム上特設店舗(東京都北区赤羽一丁目1-1)
- (4) 店舗面積:約 21 m²
- (5) 販売商品:飲料、ベーカリー、菓子等 約 140 種類



外観イメージ



内観イメージ

【利用方法】



① 店舗入口で交通系電子マネーをかざして入店



② 商品棚から商品を手に取り、決済ゾーンへ



③ ディスプレイで購入商品と金額を確認したら、交通系電子マネーで決済

【お問い合わせ先】

サインポスト株式会社 コーポレート本部 広報担当 TEL:03-5652-6031

以上